

令和4年度 財務部組織目標

組織名	財務部	部長	市理事・財務部長 財産経営推進担当部長 税務監	渡辺 東一 米山 弘一 落田 章人
組織の目的・方向性	経済情勢が不透明であり、財政状況を楽観視できない中、行財政改革に取り組み、将来世代に過度な負担を強いることのない持続可能な財政運営を推進します。			

財務部組織目標

<p>新型コロナウイルスへの対策など社会情勢の変化に的確に対応しつつ、強固な財政運営の基盤づくりを継続します。また、公共施設再編の取り組みや公有財産の効率的な管理・利活用を進めるほか、税源の涵養に努め、公正・公平な税務行政を実施することで自主財源を確保し、持続可能な財政運営を推進します。</p> <p>重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会情勢の変化による財政需要に対応しながら、強固な財政運営の基盤づくりを進めます。 2 ファシリティマネジメントの考え方に基づいた財産経営をさらに推進します。 3 税制度などを適切に運用し、市税をはじめとする債権の公平・公正な賦課徴収を推進します。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	3	達成数	3
取組結果	<p>(重点目標1) 世界的な物価高騰や新型コロナウイルス感染症対策に機動的に対応するとともに、既存事業の不断の見直しに加え、投資的経費の厳正な事業選択を行うことで、強固な財政運営の基盤づくりを進めました。</p> <p>(重点目標2) 改定した財産経営推進計画を基に、再編案を議論のたたき台としながら複数地域で地域別実行計画の策定に着手しました。</p> <p>(重点目標3) 市税納付お知らせセンターへの早期納付勧奨の指示に努めたほか、財産調査の専門担当を置き、財産調査数の増加に取り組み、滞納整理を進めた結果、現年分市税の収納率及び滞納繰越額減少の目標は達成する見込みです。</p>				

今後の方向性

(重点目標 1)

経済情勢が不透明である一方、将来に向けた投資や社会保障関係費の伸びに対応していく必要があります。既存事業の不断の見直しによって、経営資源の効果的・効率的な配分を行い、社会情勢の変化による財政需要に機動的に対応するとともに、拠点性の向上や経済の活性化に向けた財源の確保を図っていきます。

(重点目標 2)

引き続き丁寧に合意形成を図りながら地域別実行計画の策定を進めるとともに、老朽度の高い施設が多い地域や施設再編を切り口に地域の課題解決が見込まれる地域については、地域別実行計画策定に向けたワークショップ着手の働き掛けを行います。

(重点目標 3)

早期の納付勧奨や滞納解消などの取組みを推進するとともに、滞納案件に応じた徴収緩和措置の適切な運用により、市税の公平・公正な徴収を推進していきます。